

「日永梅林・登城山」を復活させる会



代表者の想い

“永続は宝”「日永梅林」の歴史は古く江戸時代後期に遡る。最盛期には 9 千本もの梅花が咲き誇る東海地方有数の景勝地で、大勢の花見客で賑わったが…。戦火（第二次大戦）に巻き込まれ梅樹は切り倒され荒廃、その雄姿は消滅。私達はこの「日永梅林」を復活させ「登城山」を自然あふれる里山に再生させることを通じ、単に緑化推進にとどまらず、地域社会との連携を図り「住民参加型のまちづくり」を推進する等を目的に平成 11 年 3 月に立ち上げ、本年で 27 年目を迎えた。梅木も 2800 本となった。環境のみならず、創健、防災、人、街、絆づくり等、SDGs にほとんどプラスのこの活動＝永続は宝！新たな観点と昔日のにぎわいを目指し取組中！

活動紹介

■活動場所：南部丘陵公園（北ゾーン）、登城山（里）周辺

■活動日：四季を通じ 3～4 日/月

■活動内容

※1 梅樹の育成《植・育樹》管理

日永梅林の復活と緑化推進による地球温暖化防止などに向け、27 年前より南部丘陵公園（北）に「梅」を、登城山には「実のなる木」を毎年植栽。近年は手狭となり、枯木の補植と育樹を中心に活動中。本年（令和 6 年）50 本植付。《現在梅 2800 本、実のなる木 300 本管理中》

※2 祭典事業《創健、笑顔、絆づくり》

「梅まつり」「梅ちぎり」「登城山まつり」「秋（植樹）まつり」「初歩き会」等、公園の四季に合わせて 3 回/年 開催中。

※3 児童（泊山小・泊山幼等）への環境・観察教室（2 回）実施

公園、自然環境、梅の歴史等について 13 年前より毎年開催中。

※4 まち、地域づくり

上記の活動を通じて又、日永地区まちづくり構想委員会への参画等、住民参加型のまちづくり輪（和、話…）づくり推進中。

PR

南部丘陵公園を歩こう！「四日市を ARUKU マップ」

世界一低いアルプスー“四日市南部アルプス縦走路”が市により完成。あすなろう鉄道 西日野駅～登城山頂～日永梅林・山里～内部駅迄、全長約 6 kmの道のり。四季を通しての散策道です。一緒にしませんか？（ルート図有）



〈梅樹の植・育樹活動の写真（剪定講習会）〉